



in熊谷

「ワーカーズ」上映会

5月25日(土) / 三回上映 / 入場料: 1000円

13:30 ~ 15:05 (15:10 ~ 15:30 / 出演者トークイベント: 高浜和行さん)

16:00 ~ 17:35 (17:40 ~ 18:00 / 深谷とうふ工房と若者自立支援)

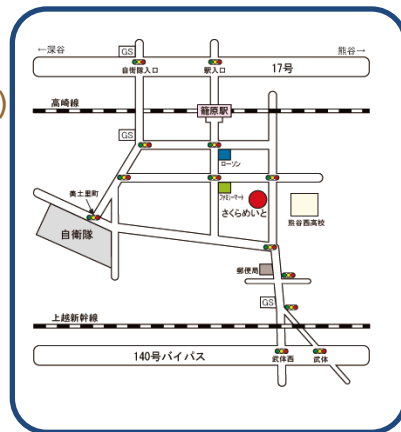
18:30 ~ 20:05

**会場: 熊谷さくらめいと月のホール
(熊谷市拾六間111-1)**

※ 保育いたします。要予約、原則無料です。

主催: 「ワーカーズ」埼玉北部上映実行委員会

問合せ: 048-574-9065 (ワーカーズコープ・深谷だんらん)



映画「ワーカーズ」が完成しました。「生きること」、「働くこと」、「愛すること」をテーマに、「協同労働」という新しい働き方で生きる人びとを追ったドキュメンタリー映画です。

～「小さな共生社会」をつくる新しい働き方～

スカイツリーの下で繰り広げられる まちの人々とワーカーズコープの物語

成果主義・効率優先・格差・貧困・孤立がすすむなか、働くことに生きがいを持っていない時代。それでも国は経済成長を最優先課題として拡大再生産を繰り返し、グローバル化に突き進んでいます。働く場を求めても他人と比べられ、選別され、未来への希望を見出せなくなっている若者たち。いつどうなるかもわからない非正規雇用の蔓延。そして居場所さえ失う人たちと、大きな不安が私たちを覆っています。このような時代、私たちは何を求め、未来をみつめていくのでしょうか。世の中のめまぐるしい変化の中で、あらためて人と人、地域、社会との結びつきを再生することが求められています。

～自分たちの明日を自分たちで耕しはじめている人々がいます～

雇う者、雇われる人と言う関係ではなく経営方針から地域に必要な仕事おこしまで、一つ一つをみんなで決めていく…ちょっと面倒臭い、けど、てんてこ舞いしながら話し合いを繰り返すなかで、「ハタラキガイ」や「キズナ」が育まれます。どこかにある桃源郷ではなく、地域の中に溶け込んで、ところを合わせ、力を合わせ、助け合って働いていく。そこには新しい時代にむけてのかすかな光への芽生えがありました。

映画【ワーカーズ】

監督: 森康行、原作・企画: 永戸祐三、制作・著作: 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ) 連合会センター事業団

ナレーション: 宮崎美子、ショートコント: 松元ヒロ

2012年 / 日本 / ドキュメンタリー / 94分

「（協同労働は）仕事ができない人を排除してしまう世の中で、人を排除しない働き方、自分たちの力を認め合う生き方だと思う。」「働く選択肢は、自分たちで考える以上に存在する。いま働いている人、特に若い人たちに見てほしい。」-----
森康行監督／「こんばんは」（2003年、キネマ旬報文化映画ベスト・テン1位）などを監督



こころよく 我にはたらく仕事あれ
それを仕遂げて 死なむと思ふ

石川啄木



生きること
働くこと
愛すること
自然にそう在りたいあなたに
贈るメッセージ

映画【ワーカーズ】

監督：森康行、原作・企画：永戸祐三、制作・著作：日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会センター事業団

ナレーション：宮崎美子、ショートコント：松元ヒロ

2012年／日本／ドキュメンタリー／94分